

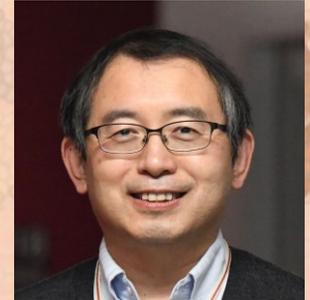
## Life Science Seminar Series

### Relationships between living organisms and the environment from an isotopic point of view.

元素の同位体比から見る生物と環境の関係性

私は今まで元素の同位体比の観点から、生物間の関係性や、生物と環境の関係、生態系などの研究をしてきました。元素の同位体比は基本的なパラメータであるため、生物体に含まれる元素でも、環境中に含まれる物質においても測定ができるため、学際的な研究ツールとして用いられています。生物体に含まれる元素の同位体比を調べることで何がわかるか、今後どういうことができそうかを紹介し、議論の材料としたいと思います。

キーワード：同位体、食物網、生態系



陀安 一郎  
Ichiro Tayasu  
生態系機能分野  
客員教授

### Observation of penguin movements using Bio-logging devices.

バイオリギングによるペンギンの移動パターン観察



塩見 こずえ  
Kozue Shiomi  
動物発生分野  
助教

動物は餌などの資源を得るため、あるいは危険を避けるために、生涯を通じて様々な時空間スケールで移動を繰り返しています。したがって移動のパターンやメカニズムを明らかにすることは、動物の生存・生態の基盤を理解する鍵であると考えられています。この発表では、バイオリギングという方法で調べたキングペンギン (*Aptenodytes patagonicus*) の長距離移動戦略について紹介します。

キーワード：バイオリギング、移動、海鳥

Thur. 16<sup>th</sup> December, 12:00 ~ 13:00

Online-Zoom

(Meeting address would be informed by E-mail)

Organized by 生命科学交流ミーティング

Organizers : Hongyang Wu, Aoi Kon

Members: A Kunitomi, R Hatanaka, A Yamane, Y Hata, R Yoshino, K Matsumoto, S Hiramatsu, H Obinata, Y Watanabe, A Morizane, M Takada, A Kunitomi, M Akahori. Contact: aoi.kunitomi.r3@dc.tohoku.ac.jp

Merry  
Christmas